

# DENON

## スピーカー システム 取扱説明書

# SC-C555SA

安全にお使いいただくために必ずお守りください。

お買い上げいただき、ありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。  
お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

梱包箱の中には本体とは別に次の品物が入っていますので、ご確認ください。

取扱説明書	1
すべり止め	8
接続コード（約3m）	1
保証書	1
製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表	1

### 仕様

形式：2ウェイ・5スピーカー、バスレフ型、  
P.P.D.D.方式、防磁設計

使用スピーカー構成：

ウーハー.....8cmコーン型×4ケ

スーパーツイーター.....2cmドーム型×1ケ

入カインピーダンス：6

最大許容入力：100W（EIAJ）、200W（PEAK）

再生周波数帯域：50Hz～120kHz

平均出力音圧レベル：89dB（1W・1m）

寸法：（幅）494mm

（高さ）89mm

（奥行き）212mm

質量：3.9kg

改良のため仕様および内容を予告なく変更することがあります。

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずよくお読みください。

絵表示について この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



### 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。  
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。  
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。  
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

## 警告

安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

煙が出ている、変なおいがる、異常な音が出るなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。



電源プラグをコンセントから抜け

水が入ったり、濡らしたりしないように

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。



# 警告 つづき

## 安全上お守りいただきたいこと

### 内部に異物を入れない

バスレフダクト孔口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。



### キャビネット（スピーカー・裏ぶた）を外したり、改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



### 長時間音が歪んだ状態で使用しない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



### 落としたり、キャビネットを破損した場合は

まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



### この機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



## 取り扱いについて

### 風呂・シャワー室では使用しない

火災・感電の原因となります。



水場での使用禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品などが入った容器を置かないこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



# 注意

## 安全上お守りいただきたいこと

### 機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器・スピーカーなどの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。



### 電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



## 置き場所について

### 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



### 次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ

湿気やほこりの多いところ

直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど高温になる場所



### 壁や他の機器から少し離して設置する

壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



# ⚠ 注意 つづき

## 取り扱いについて

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



移動させる場合は

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線・機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



## ステレオ音のエチケット



音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。

隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。

ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。

特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

## 使用上のご注意

長時間直射日光を受ける場所やストーブなどの暖房器具の近くに置くことは避けてください。

湿気の多い場所やホコリの多い場所に置きますと、故障の原因になる場合があります。

キャビネットは殺虫剤が付着したり、ベンジン、シンナーなどの溶剤で拭いたりしますと変質したり変色することがありますのでご使用は避けてください。また、汚れを拭き取る時は柔らかい布を使い、化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

テープレコーダーの早送り信号や正弦波などの特定な信号を連続して再生することは、絶対に避けてください。故障の原因になる場合があります。

## 設置について

スピーカーシステムの音質は、部屋の大きさ・形態（洋室、和室）・設置のしかたによって変わりますので、次のことに留意して設置してください。

床に直接置いて低音域が不自然に強調されたりする場合には、コンクリートブロックなどの固い台の上にのせるようにしてください。

スピーカーシステムをレコードプレーヤーと同じ台や棚の上に設置するとハウリングを起こすことがありますので、ご注意ください。

スピーカーシステムの背面や前面に壁やガラス戸などがある場合には、共振や反射を防止するために厚手のカーテンなどを掛けるようにしてください。

本機はテレビとの近接使用が可能な防磁形スピーカーシステムですが、テレビの種類によっては色むらを生じる場合があります。その場合には一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁回路により、画面への影響が改善されます。その後も色むらが残るような場合には、スピーカーをさらに離してください。

近くに磁石などの磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色むらを生じる場合がありますので、ご注意ください。

本機をテレビの上に設置する場合には、設置する高さにかかわらず、前面が下向きになるよう設置することをおすすめします。

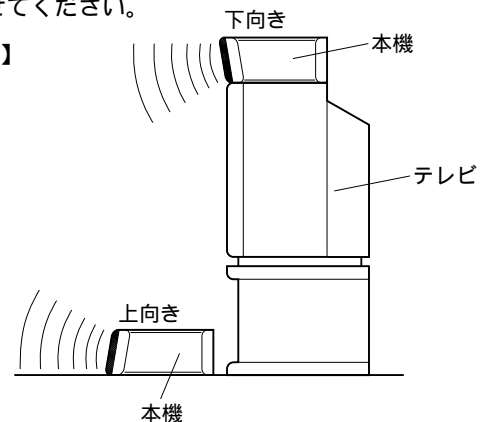
スピーカーシステムの最大許容入力とは、一般のプログラムソースにおいて短時間なら加えることのできる入力ですのでこの値以上の入力を加えないようにしてください。ご使用になるアンプによって出力端子が異なることがありますので、アンプの取扱説明書をお読みいただき確認してください。

アンプのトーンコントロールなどを最大にして、大出力で使用すると出力波形に歪現象などが現れることがありますのでこのような使用は避けてください。

スピーカーシステムを移動させる場合、サラネットに強く触れますとスピーカーを破損させることがありますので、ご注意ください。

本機をテレビの上に設置する場合、付属のすべり止めを底面のコーナー4ヶ所に貼ってください。テレビの上面が平面ではない場合がありますので、必要に応じて残りのすべり止めを重ねて貼り付けて安定させるようにしてください。設置後は安全性を確認してください。落下によるいかなる損害・事故についても当社はその責を負いません。本機は前面が傾斜になっており、設置する場所によって前面が上向きまたは下向きになるように設置してください。耳より高い位置に設置する場合は前面が下向きに、床に設置する場合は前面が上向きになるように設置することをおすすめします。前面の向きに合わせてサラネットの向きを合わせてください。

## 【設置例】



## サラネットのはずしかた

スピーカーシステム前面のサラネットは、取り外すことができます。

取り外すときは、サラネットの両側を持って手前に引いてください。

取り付けるときは、サラネットの突起とキャビネットの穴部とを合わせて押し込んでください。

### ご注意

安全にお使いいただくため、本機の上に物をのせないでください。

側面に力が掛かった場合、本機が落下する恐れがあります。けがなど重大事故の原因になりますので、十分注意してください。

スピーカーコードを手や足に引っ掛けて本機を落下させることのないように、スピーカーコードは固定してください。

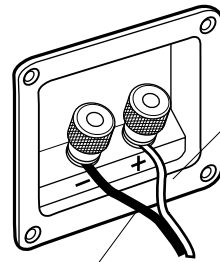


### 接続方法

スピーカーシステムをアンプに接続する場合は、必ずアンプの電源を切ってからおこなってください。

- ・スピーカーシステム背面の入力端子（右図参照）とアンプのスピーカー出力端子を付属の接続コードで接続します。極性を間違えると、位相が変わったり低音域のない不自然な再生音になってしまいます。またスピーカー端子のねじが2個ともしっかり締まっていることを確認してください。

接続方法 [ 右側赤端子が (+) 左側黒端子が (-) です ]



スピーカー端子のねじをゆるめてコードの芯線を差し込み、ねじを締めてください。

アンプの⊕側へ（芯線銅色）

注意：スピーカーコードの芯線どうしを接触させないでください。

アンプの⊖側へ（芯線銀色）

### 保証とサービスについて

- ① この商品には保証書が添付されております。保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。
- ② 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますのでご注意ください。詳しくは、保証書をご覧ください。修理相談窓口については、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。
- ③ 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
- ④ 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。
- ⑤ 保証および修理についてご不明の場合には、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。当社製品のお問い合わせについては、お客様相談窓口にご連絡ください。詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

## 日本コロムビア株式会社

本社 〒107-8011 東京都港区赤坂4-14-14 TEL : 03(3584)8111 (大代表)